

League communication EHIME

連盟通信 えひめ

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 植岡 道玄



次期参議院議員選挙候補予定者が内定

石田まさひろの政策主張

超高齢少子社会に、人が幸せに暮らすために
看護の力が今まで以上に求められています

新しい命を産み育てるためには、
助産師らの力が慈愛の輝きになります

地域で健康に過ごすためには、
保健師らの力が生きる喜びになります

闘病生活を無事に乗り越えるには、
看護師らの力が希望の光になります

医療がすべての効力を失った後も、
看護の力で最期の日々を見守ります

石田まさひろさんを推薦します



日本看護連盟会長 清水 嘉与子

石田まさひろさんは東京大学医学部保健学科卒の保健師・看護師でまだ44歳の若さ。臨床の現場、国会議員秘書、日本看護協会政策企画室長、日本看護連盟幹事長と多彩な経験を通して、多くの看護師たちに信頼され、若者からも兄貴分として大変慕われています。特に東日本大震災発災後に見せた素早い救援活動が被災地の会員たちに大きな評価を得たように、行動力は抜群です。困難なことがあっても、常に前を向いて進む姿勢を頼もしく思っています。

石田まさひろを応援しましょう!



石田まさひろ政策研究会会長 大島 敏子

石田まさひろさんは、15年位前に看護協会の政策企画室に勤務していた頃、私と一緒に診療報酬の勉強会をしていた時の中心的人物でした。

その頃から現在まで、社会の中で看護が正しく評価されるために考え行動し続けています。情報収集能力・分析力抜群で現場志向の石田まさひろさんの看護の未来を創る熱い情熱を応援しましょう。

石田まさひろさんを国政へ必ず送ろう



愛媛県看護連盟会長 植岡 道玄

看護連盟の歴史は50余年、その中でも医療界は医師に厚く看護に至っては今なお労働環境、教育、賃金に大きな開きがあります。私達は先人達により法的制定をもって改善されたものは少なくはないが、看護界も日進月歩で更に高いレベルの政策提言を行っていること、また現場の声を届けるためにも組織代表を国政に送らねばなりません。このたび看護職の代表としては初めての男性看護師ということで精鋭の士として一層力も入り、皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

次期参議院議員選挙候補予定者が内定

「石田まさひろ政策研究会」がスタートしました

看護が豊かに行われる社会づくり

看護は、人のいのちと暮らしを守り、未来に希望を与える

1 ケアする人たちを支えます

- ①看護職の確保対策の推進
- ②離職防止のための職場環境の向上
- ③職種間の役割分担の見直し
- ④責任に見合った給与体系の見直し
- ⑤超高齢少子社会に対応する保健医療福祉の抜本改革

2 時代や社会にあった看護を提供します

- ①高度な看護実践を促すしくみづくり
- ②看護基礎教育の見直しと生涯教育の充実
- ③看護職が活躍する場の拡大
- ④暮らしを支える地域ケアの充実
- ⑤チーム医療・チームケアの推進
- ⑥あらゆる災害に対応できる看護体制の充実



石田まさひろ 4つのアピールポイント



政策通



政策づくりの基本は現場からの発想、そしてスピード感。「現場がどう変わったか」を実証し、次のステップに導いていくこと。

未来への熱い情熱



44歳、働き盛り、思春期まっただ中の2人の父親。若手看護師から慕われる兄貴分。事件が起これば、即、現場に走る。

確かな実行力



看護師として、最先端の病院づくりに関わった。日本看護協会では、保健師助産師看護師法改正や診療報酬改定等をリード。日本看護連盟では、全国選挙を勝利に導く。

多彩な分野への広がり



趣味は神話めぐりと魚の飼育、読書。年間150冊以上の読書量。専門の看護や医療分野に限らず、経済、文化、教育、国際問題にも関心を持ち、独自の発想を広げてきた。

石田まさひろ の主な経歴

1967(昭和42)年、奈良県大和郡山市生まれ

兵庫県の甲陽学院高等学校卒業

東京大学医学部保健学科卒業

看護師として聖路加国際病院、東京武蔵野病院で勤務

衆議院公設秘書を経験

日本看護協会では政策企画室長などを務める

日本看護連盟では幹事長などを務める



facebook



お友だちになってください
石田まさひろはfacebookで情報発信しています。



石田まさひろ政策研究会規約 (抜粋)

- 本会は、石田まさひろ政策研究会と称する。
- 本会は、石田まさひろの政治活動を支援することを目的とする。
- 本会は、目的の趣旨に賛同する者を以て組織する。
- 本会の目的達成のため、必要に応じて機関紙の発行、講演会などの事業を行う。

連絡先

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目8-2
TEL 03-3400-1417
info@masahiro-ishida.jp

どなたでも、いつでも 政策研究会にご加入ください

「石田まさひろ政策研究会」ホップ

平成24年2月28日(火)

8:50 新居浜から施設訪問スタート



住友別子病院



ホワイトボードにユーモアたっぷりの石田さんのイラストなど、あちこちに手作りの温かさが感じられました。



十全総合病院



愛媛労災病院



10:45 新居浜から四国中央へ



公立学校共済組合四国中央病院



愛媛会石川病院

石田まさひろさんの伊予路紀行

東予～南予へ

13:00 四国中央から西条へ



西条愛寿会病院

どの施設でも温かく迎えていただきました。
お忙しい中大変お世話になりました。



村上記念病院



済生会西条病院



西条中央病院



渡部内科病院

東予施設訪問 12施設
参加者合計234名



15:15 西条から今治へ



済生会今治病院



済生会今治第二病院

「石田まさひろ政策研究会」ホップ

17:30 今治から松山へ

18:00~20:00 コムズ(松山市男女共同参画推進センター)で研修会



中予施設訪問 21施設
参加者合計232名

1回30分ずつ4回に分けての研修会
石田さんの熱意をお聞きしました。
雨の中のご参加ありがとうございました。



平成24年2月29日(水)

8:07 JR松山駅発 9:30 宇和島駅着 施設訪問スタート



宇和島社会保険病院



市立宇和島病院



宇和島徳洲会病院



宇和島市立吉田病院

13:00 宇和島から吉田へ

石田まさひろさんの伊予路紀行

東予～南予へ

13:40 吉田から宇和へ



西予市立宇和病院

14:25 宇和から八幡浜へ



市立八幡浜総合病院

南予施設訪問 7施設
参加者合計106名

15:10 八幡浜から大洲へ



市立大洲病院

16:30 大洲から松山へ



参加者
80名

愛媛県看護協会にご挨拶

17:15～18:45 松山記念病院で診療報酬の研修会

19:35 松山発羽田行き飛行機で帰京。石田さん、本当にお疲れさまでした。

「石田まさひろ」さん 愛媛の2日間

愛媛県看護連盟幹事長 有請 千代美

2月28日、新居浜から今治まで東予の各施設を訪問させていただきました。訪問先では心温まる歓迎を受け、とても嬉しい気分で初日をスタートすることができました。また、東予ならではの細かいご意見もたくさんいただきました。12施設を駆け足で訪問し、234名の方と握手をして、夕刻に中予へ移動。

中予では、コムズで30分ごとに会員さんの入れ替えをして、計4回研修会を開催。石田さんは4回すべて内容を変えて熱く語りました。さすがです！勤務を終えて駆けつけてくださった皆さんとの熱い思い満杯の2時間でした。232名の方と握手をしてパワー満開。

翌朝JRで南予へ。宇和島から大洲へ向かって7施設を訪問し田舎の病院の特殊な問題点、若者のいない病院の悩み等々、休む間もなく聞いてもらって少しみんなの気持ちが晴れました。106名の方が期待を

込めて握手をし、なごりを惜しみながら松山へ。

看護協会にご挨拶の後、松山記念病院で診療報酬の研修会を開催。80名の参加で大盛況でした。そしてファンが増えました。

駆け足での2日間、663名の方とお会いすることが出来て感激です。貴重なひと時の触れあいでしたが、石田さんの真摯な対応と大変気さくな人柄が好感を得て、とても良い雰囲気を受け入れていただきました。お会いした皆さんはあらためて石田さんを看護職として、自分達の仲間として今まで以上に身近に感じられ、また、頼もしい存在になったと思います。少しスリムになった石田まさひろさんをどうぞ応援して下さい。

2日間お忙しい中ご協力いただきどうもありがとうございました。



石田昌宏さん愛媛をかけ足でまわる (当日ブログより)

2012年2月28日(火)

今日は愛媛県。看護連盟会長直々の運転で、東予の施設12か所と中予での集会を行いました。

施設回りは非常に勉強になりました。短い時間の中で現場の状況を教えてくれたところもたくさんありました。

教育機会均等法を、そんな意見が川之江にある病院でお聞きしました。看護職が学ぶ意欲をもっていても、研修の機会はどうしても都会、県庁所在地が多く、地方からそこに行くだけですごいエネルギーがかかります。地方でも気軽に教育を受けることができるようにしてほしいという旨です。

その通りだと思います。でもやはり物理的な壁というのがあり、克服は簡単ではありません。最近増え始めたe-learningはどうかと聞きましたが、確かに対面の教育よりは劣るかもしれないけど、普及してほしいとのこと。ここに問題解決のチャンスがあります。

個人個人の勉強はもとより、たとえば院内研修をビデオやネットを使ってやるだけで、効率・効果はずいぶん上がると思います。仕事が終わってからちょっと30分勉強して帰るとか、昼休みに15分だけ勉強するとか、そういった気楽さが院内の研修ならではの良さですが、それをネットを使ってバックアップすればいいのです。

真剣に考えていきたいと思います。

夜は、同じ会場で30分刻みで人が入れ替わり、4回話をしました。

4回同じ話をすべきなのでしょうが、コンスタントに自分のモチベーションを上げ続ける技術は持っていません。

自分のテンションが落ちたら人に伝わらなくなるので、困った末に、同じ結論にはなるのだけれど、素材は4種類、それぞれ異なるように話をしました。

幸いそれなりに伝わったかなって思います。こういうやり方は初めてですが、いろいろチャレンジさせてもらいありがたいです。

2012年2月29日(水)

朝、アンパンマン列車に乗って、松山から宇和島に移動。瀬戸内海の入り江とミカン畑の斜面の景色が快晴の空のもととってもきれい。癒されます。

南予地域の施設訪問をしました。

今日もいろいろ考えさせられました。

港町の病院は、医師不足のため3つの病棟のうち1つを閉鎖。今後も不安です。

40人の看護師のうち、20歳代がわずか一人。50歳以上が30人。定年を考えると、あと10年後には看護師の大半が辞めてしまいます。再雇用などをして時間の問題。さて、どうするか。

高齢化はどんどん進み、お年寄りの単独か夫婦だけの世帯が多く、病院へのニーズはますます高まります。

ミカン畑の維持も難しく農家が減っており、漁業も増える見込みはありません。雇用の場がなく若者は市街地に出ていきます。今年も去年も一昨年も新人看護師は来ません。こういう地域で、医療の確保、人材の確保をどうするか。

残された時間はあまりありません。

それでも、看護師たちには笑顔がありました。毎日の仕事を精一杯しているからでしょう。

東京に戻ると、道路の端っこに雪が残っていました。とても寒い。

都会の感覚と地方の感覚の違いを痛感した一日でした。



編集
後記

次期参議院選挙の候補予定者が決まり、第1段階の「ホップ」は無事終了しました。看護の代表を国政に送るために、会員の増加と政策研究会への参加をお願いいたします。引き続き、連盟活動にご協力ください。